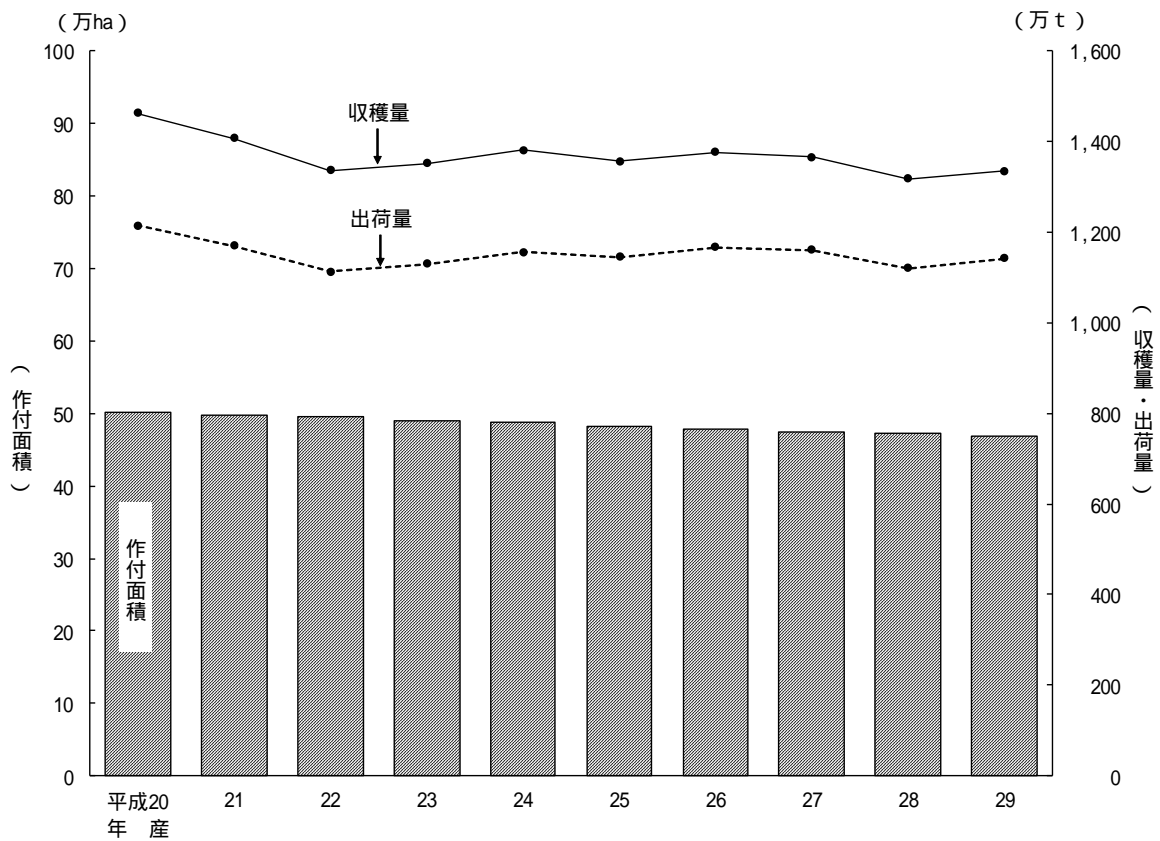


## 1 平成29年産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の動向

平成29年産の野菜（41品目）の作付面積は46万8,700haで、前年産に比べ2,900ha（1%）減少した。収穫量は1,334万4,000t、出荷量は1,141万9,000tで、前年産に比べそれぞれ16万4,000t（1%）、21万5,000t（2%）増加した。

図1 野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の推移



注：平成22年産からみずなを調査品目に追加したため、平成21年産以前の作付面積、収穫量及び出荷量の数値にはみずなは含まれていない。

表1 平成29年産野菜の作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
計	468,700	...	13,344,000	11,419,000	99	nc	101	102	nc
根 菜 類	162,600	...	4,947,000	4,121,000	100	nc	104	105	nc
だ い こ ん	32,000	4,140	1,325,000	1,087,000	99	98	97	98	97
か ぶ	4,420	2,700	119,300	98,800	98	95	93	93	95
に ん じ ん	17,900	3,330	596,500	533,700	101	105	105	106	102
ご ぼ う	7,950	1,790	142,100	122,800	99	105	103	104	96
れ ん こ ん	3,970	1,550	61,500	51,600	101	102	103	103	103
ば れ い し ょ (じゃがいも)	77,200	3,100	2,395,000	1,996,000	100	109	109	110	103
さ と い も	12,000	1,240	148,600	97,000	98	98	96	98	98
や ま の い も	7,150	2,230	159,300	134,300	100	109	109	111	100
葉 茎 菜 類	184,200	...	5,363,000	4,707,000	100	nc	99	99	nc
は く さ い	17,200	5,120	880,900	726,800	99	100	99	102	101
こ ま つ な	7,010	1,600	112,100	99,200	102	97	99	100	97
キ ャ ベ ツ	34,800	4,100	1,428,000	1,280,000	101	98	99	99	98
ち ん げ ん さ い	2,200	1,960	43,100	38,000	99	98	98	98	99
ほうれんそう	20,500	1,110	228,100	193,300	99	93	92	93	93
ふ き	557	1,920	10,700	9,130	98	98	96	97	97
み つ ば	957	1,610	15,400	14,400	98	103	101	101	107
し ゅ ん ぎ く	1,930	1,500	29,000	23,500	98	98	97	97	97
み ず な	2,460	1,710	42,100	38,000	98	98	97	96	101
セ ル リ ー	580	5,550	32,200	30,600	99	97	96	97	101
アスパラガス	5,330	492	26,200	23,000	98	88	86	86	98
カリフラワー	1,230	1,630	20,100	17,000	101	98	99	99	95
ブロッコリー	14,900	970	144,600	130,200	102	99	102	102	97
レ タ ス	21,800	2,680	583,200	542,300	101	99	100	98	100
ね ぎ	22,600	2,030	458,800	374,400	100	99	99	100	97
に ら	2,060	2,890	59,600	53,900	97	99	96	96	101
た ま ね ぎ	25,600	4,800	1,228,000	1,099,000	99	100	99	99	106
に ん に く	2,430	852	20,700	14,500	101	97	98	99	97
果 菜 類	98,000	...	2,336,000	1,977,000	98	nc	103	104	nc
き ゅ う り	10,800	5,180	559,500	483,200	99	103	102	103	103
か ぼ ち ゃ	15,800	1,270	201,300	161,000	99	109	109	111	103
な す	9,160	3,360	307,800	241,400	99	102	101	102	102
ト マ ト	12,000	6,140	737,200	667,800	99	100	99	100	102
ビ ー マ ン	3,250	4,520	147,000	129,800	99	102	102	102	106
スイートコーン	22,700	1,020	231,700	186,300	95	125	118	124	105
さ や い ん げ ん	5,590	712	39,800	26,400	99	102	101	103	104
さ や え ん どう	3,050	711	21,700	13,800	99	119	118	122	111
グリーンピース	772	830	6,410	5,060	96	121	116	118	112
そ ら ま め	1,900	816	15,500	10,700	96	110	105	107	98
え だ ま め	12,900	525	67,700	51,800	101	102	103	104	100
香 辛 野 菜									
し ょ う が	1,780	2,710	48,300	38,100	98	96	95	95	99
果 実 的 野 菜	22,200	...	649,800	575,300	98	nc	98	98	nc
い ち ご	5,280	3,100	163,700	150,200	98	105	103	104	106
メ ロ ン	6,770	2,290	155,000	140,700	97	100	98	98	102
す い か	10,200	3,250	331,100	284,400	98	98	96	96	100

注：「(参考)対平均収量比」とは、10a当たり平均収量(原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

2 指定野菜の品目別の概要

(1) だいこん

ア 作付面積

作付面積は3万2,000haで、前年産に比べ300ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,140kgで、前年産に比べ80kg(2%)下回った。

ウ 収穫量

収穫量は132万5,000tで、前年産に比べ3万7,000t(3%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は108万7,000tで、前年産に比べ1万8,000t(2%)減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春だいこん

作付面積は4,530haで、前年産に比べ60ha(1%)減少した。

10a当たり収量は4,850kgで、前年産に比べ100kg(2%)上回った。

収穫量は21万9,700t、出荷量は20万200tで、前年産に比べそれぞれ1,700t(1%)、5,700t(3%)増加した。

(イ) 夏だいこん

作付面積は6,270haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は4,150kgで、前年産に比べ350kg(9%)上回った。これは、北海道及び青森県において、7月の高温・多照により肥大が良好であったことによる。

収穫量は26万400t、出荷量は23万7,800tで、前年産に比べそれぞれ2万3,200t(10%)、2万1,500t(10%)増加した。

(ウ) 秋冬だいこん

作付面積は2万1,200haで、前年産に比べ300ha(1%)減少した。

10a当たり収量は3,990kgで、前年産に比べ230kg(5%)下回った。これは、9月及び10月の台風、長雨等により、生育が抑制されたためである。

収穫量は84万5,000t、出荷量は64万9,400tで、前年産に比べそれぞれ6万1,500t(7%)、4万5,100t(6%)減少した。

図2 だいこんの作付面積及び収穫量の推移

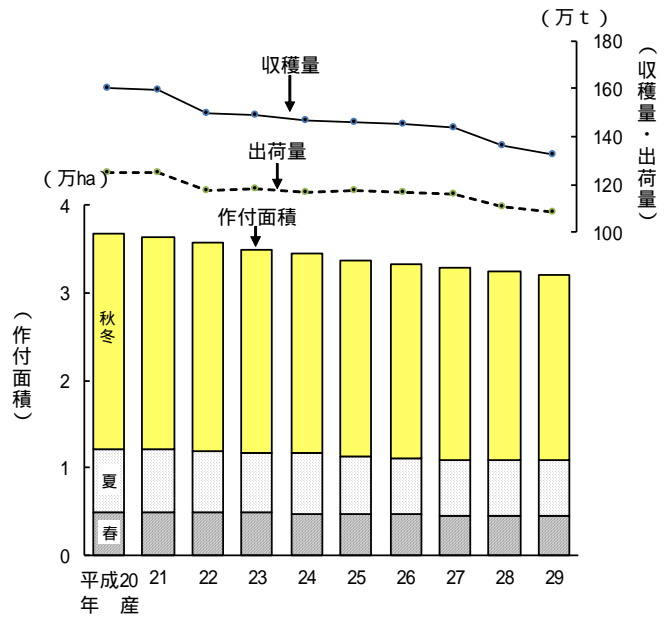


表2 平成29年産だいこんの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	
だいこん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	4,530	4,850	219,700	200,200	99	102	101	103	102
夏	6,270	4,150	260,400	237,800	100	109	110	110	109
秋冬	21,200	3,990	845,000	649,400	99	95	93	94	92

(2) にんじん

ア 作付面積

作付面積は1万7,900haで、前年産に比べ100ha(1%)増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,330kgで、前年産に比べ150kg(5%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は59万6,500tで、前年産に比べ2万9,700t(5%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は53万3,700tで、前年産に比べ3万900t(6%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春夏にんじん

作付面積は4,290haで、前年産に比べ130ha(3%)減少した。これは、主に埼玉県において他の野菜に転換したこと及び千葉県においては種作業の遅れから作付けを断念した農家があったことによる。

10a当たり収量は3,870kgで、前年産に比べ40kg(1%)上回った。

収穫量は16万5,900tで前年産に比べ3,200t(2%)減少し、出荷量は15万3,700tで前年産並みとなった。

(イ) 秋にんじん

作付面積は5,840haで、前年産に比べ260ha(5%)増加した。これは、北海道において、てんさい、豆類等からの転換があったためである。

10a当たり収量は3,540kgで、前年産に比べ730kg(26%)上回った。これは、北海道及び青森県において、7月の高温・多照により肥大が良好であったことによる。

収穫量は20万6,600t、出荷量は18万7,400tで、前年産に比べそれぞれ4万9,800t(32%)、4万5,200t(32%)増加した。

(ウ) 冬にんじん

作付面積は7,800haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は2,870kgで、前年産に比べ210kg(7%)下回った。これは、9月及び10月の台風、長雨等により、生育が抑制されたためである。

収穫量は22万4,000t、出荷量は19万2,600tで、前年産に比べそれぞれ1万6,900t(7%)、1万4,800t(7%)減少した。

図3 にんじんの作付面積及び収穫量の推移

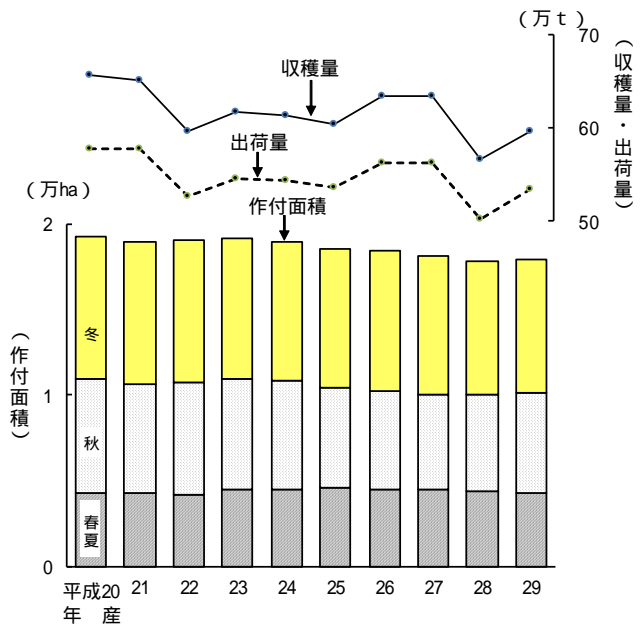


表3 平成29年産にんじんの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
にんじん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春夏	4,290	3,870	165,900	153,700	97	101	98	100	105
秋	5,840	3,540	206,600	187,400	105	126	132	132	115
冬	7,800	2,870	224,000	192,600	100	93	93	93	91

(3) ばれいしょ(じゃがいも)

ア 作付面積

作付面積は7万7,200haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,100kgで、前年産に比べ250kg(9%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は239万5,000tで、前年産に比べ19万6,000t(9%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は199万6,000tで、前年産に比べ17万8,000t(10%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春植えばれいしょ

作付面積は7万4,500haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は3,160kgで、前年産に比べ270kg(9%)上回った。これは、作付けの多い北海道において、おおむね天候に恵まれ、台風による被害等のあった前年産を上回ったためである。

収穫量は235万5,000t、出荷量は196万6,000tで、前年産に比べそれぞれ19万7,000t(9%)、17万9,000t(10%)増加した。

(イ) 秋植えばれいしょ

作付面積は2,640haで、前年産に比べ30ha(1%)減少した。

10a当たり収量は1,520kgで、前年産に比べ10kg(1%)下回った。

収穫量は4万100t、出荷量は3万100tで、前年産に比べそれぞれ700t(2%)、300t(1%)減少した。

図4 ばれいしょの作付面積及び収穫量の推移

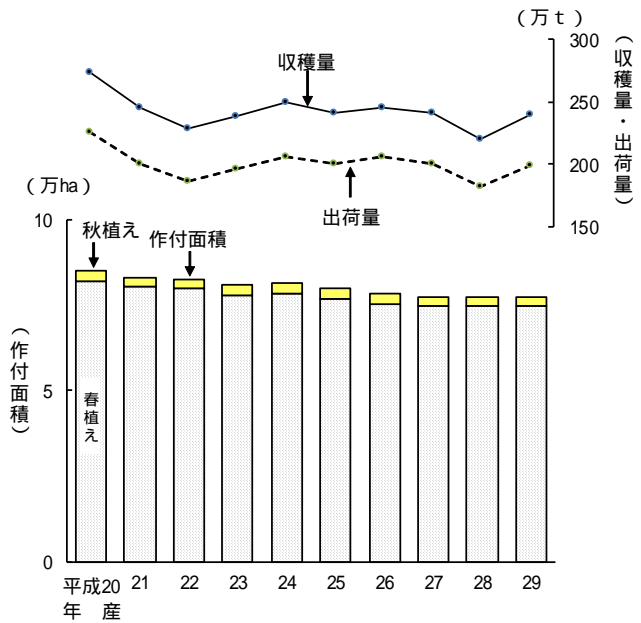


表4 平成29年産ばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	
ばれいしょ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ばれいしょ	77,200	3,100	2,395,000	1,996,000	100	109	109	110	103
春植え	74,500	3,160	2,355,000	1,966,000	100	109	109	110	104
秋植え	2,640	1,520	40,100	30,100	99	99	98	99	91

(4) さといも

ア 作付面積

作付面積は1万2,000haで、前年産に比べ200ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,240kgで、前年産に比べ30kg(2%)下回った。

ウ 収穫量

収穫量は14万8,600tで、前年産に比べ6,000t(4%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は9万7,000tで、前年産に比べ1,600t(2%)減少した。

オ 季節区分別の概況

秋冬さといも

作付面積は1万1,900haで、前年産に比べ300ha(2%)減少した。

10a当たり収量は1,250kgで、前年産に比べ20kg(2%)下回った。

収穫量は14万8,500t、出荷量は9万6,900tで、前年産に比べそれぞれ6,000t(4%)、1,600t(2%)減少した。

図5 さといもの作付面積及び収穫量の推移

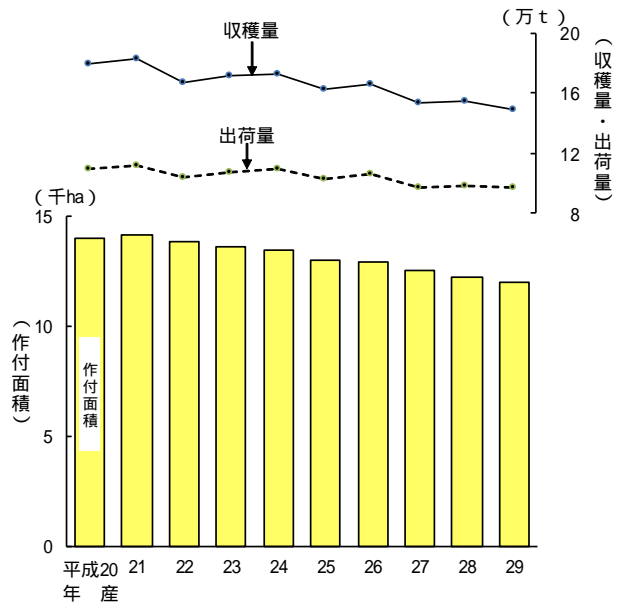


表5 平成29年産さといもの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	
さといも	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
さといも	12,000	1,240	148,600	97,000	98	98	96	98	98
うち秋冬	11,900	1,250	148,500	96,900	98	98	96	98	99

## (5) はくさい

## ア 作付面積

作付面積は1万7,200haで、前年産に比べ100ha(1%)減少した。

## イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,120kgで、前年産並みとなった。

## ウ 収穫量

収穫量は88万900tで、前年産に比べ7,800t(1%)減少した。

## エ 出荷量

出荷量は72万6,800tで、前年産に比べ1万1,000t(2%)増加した。

## オ 季節区分別の概況

## (ア) 春はくさい

作付面積は1,850haで、前年産に比べ10ha(1%)減少した。

10a当たり収量は6,410kgで、前年産に比べ300kg(5%)上回った。これは、平年に比べ高い気温で推移し生育が順調であったことによる。

収穫量は11万8,500t、出荷量は10万9,000tで、前年産に比べそれぞれ4,900t(4%)、5,200t(5%)増加した。

## (イ) 夏はくさい

作付面積は2,460haで、前年産に比べ30ha(1%)減少した。

10a当たり収量は7,500kgで、前年産に比べ230t(3%)上回った。

収穫量は18万4,500t、出荷量は16万7,200tで、前年産に比べそれぞれ3,400t(2%)、8,800t(6%)増加した。

## (ウ) 秋冬はくさい

作付面積は1万2,900haで、前年産に比べ100ha(1%)減少した。

10a当たり収量は4,480kgで、前年産に比べ90kg(2%)下回った。

収穫量は57万7,900t、出荷量は45万700tで、前年産に比べそれぞれ1万6,200t(3%)、3,000t(1%)減少した。

図6 はくさいの作付面積及び収穫量の推移

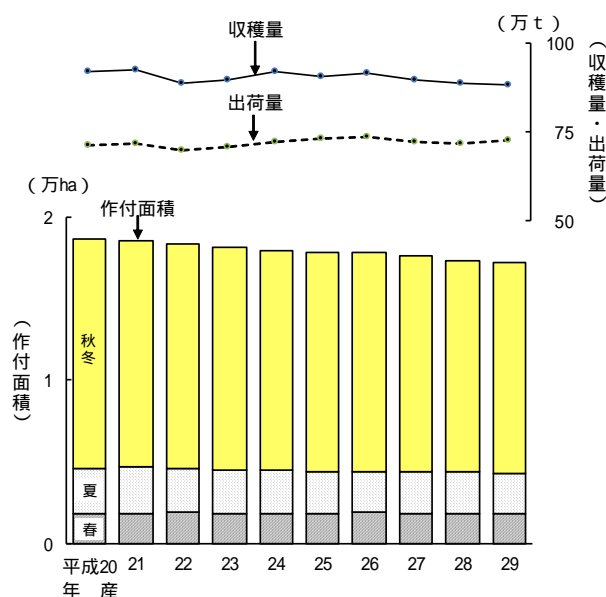


表6 平成29年産はくさいの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
はくさい	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
はくさい	17,200	5,120	880,900	726,800	99	100	99	102	101
春	1,850	6,410	118,500	109,000	99	105	104	105	106
夏	2,460	7,500	184,500	167,200	99	103	102	106	107
秋冬	12,900	4,480	577,900	450,700	99	98	97	99	98

(6) キャベツ

ア 作付面積

作付面積は3万4,800haで、前年産に比べ200ha(1%)増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,100kgで、前年産に比べ80kg(2%)下回った。

ウ 収穫量

収穫量は142万8,000tで、前年産に比べ1万8,000t(1%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は128万tで、前年産に比べ1万8,000t(1%)減少した。

オ 季節区別の概況

(ア) 春キャベツ

作付面積は9,080haで、前年産に比べ80ha(1%)増加した。

10a当たり収量は4,180kgで、前年産に比べ100kg(2%)上回った。

収穫量は37万9,300t、出荷量は34万2,600tで、前年産に比べそれぞれ1万2,500t(3%)、1万3,800t(4%)増加した。

(イ) 夏秋キャベツ

作付面積は1万300haで、前年産に比べ100ha(1%)増加した。

10a当たり収量は4,780kgで、前年産に比べ130kg(3%)上回った。

収穫量は49万2,400t、出荷量は44万200tで、前年産に比べそれぞれ1万8,100t(4%)、1万500t(2%)増加した。

(ウ) 冬キャベツ

作付面積は1万5,400haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は3,610kgで、前年産に比べ320kg(8%)下回った。これは、9月及び10月の台風、長雨等により、生育が抑制されたためである。

収穫量は55万5,800t、出荷量は49万7,300tで、前年産に比べそれぞれ4万9,500t(8%)、4万2,300t(8%)減少した。

図7 キャベツの作付面積及び収穫量の推移

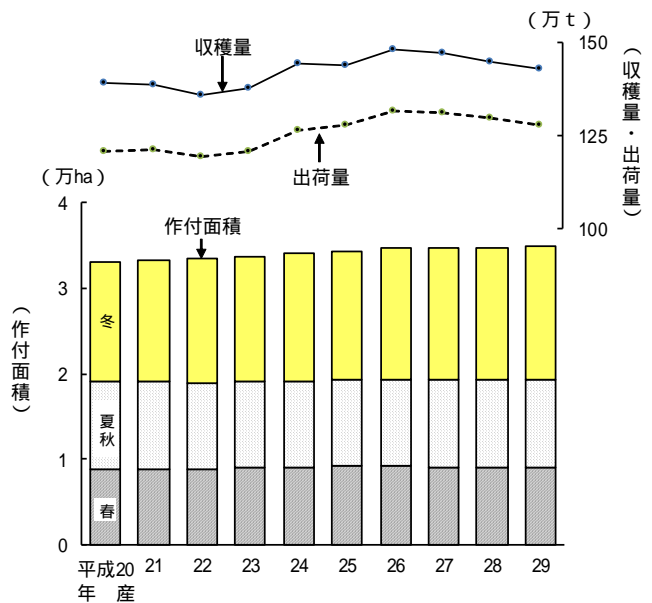


表7 平成29年産キャベツの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
キャベツ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	9,080	4,180	379,300	342,600	101	102	103	104	102
夏秋	10,300	4,780	492,400	440,200	101	103	104	102	104
冬	15,400	3,610	555,800	497,300	100	92	92	92	91



(7) ほうれんそう

作付面積は2万500haで、前年産に比べ200ha(1%)減少した。

10a当たり収量は1,110kgで、前年産に比べ80kg(7%)減少した。これは、日照不足及び低温により生育が抑制されたためである。

収穫量は22万8,100で、前年産に比べ1万9,200t(8%)減少した。

出荷量は19万3,300tで、前年産に比べ1万4,000t(7%)減少した。

図8 ほうれんそうの作付面積及び収穫量の推移

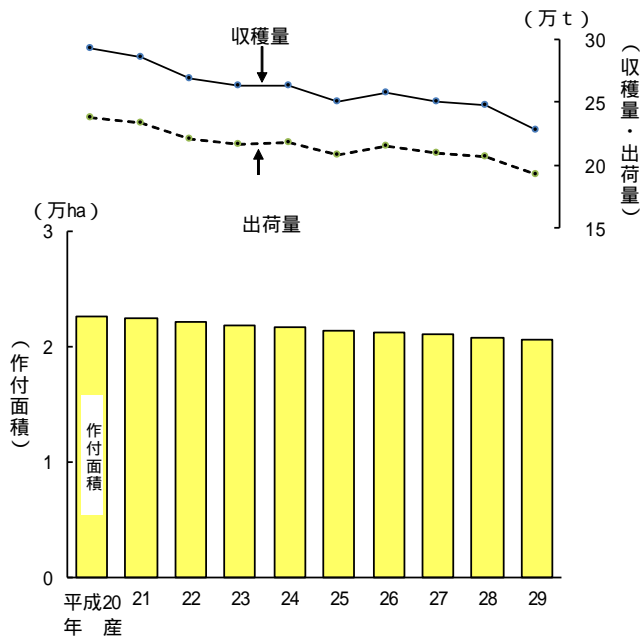


表8 平成29年産ほうれんそうの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ほうれんそう	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	20,500	1,110	228,100	193,300	99	93	92	93	93

(8) レタス

ア 作付面積

作付面積は2万1,800haで、前年産に比べ200ha(1%)増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,680kgで、前年産に比べ30kg(1%)下回った。

ウ 収穫量

収穫量は58万3,200tで、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は54万2,300tで、前年産に比べ1万2,900(2%)減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春レタス

作付面積は4,480haで、前年産に比べ140ha(3%)増加した。これは、群馬県等において規模拡大が行われたことによる。

10a当たり収量は2,750kgで、前年産に比べ70kg(3%)上回った。

収穫量は12万3,200t、出荷量は11万5,700tで、前年産に比べそれぞれ6,700t(6%)、6,300t(6%)増加した。

(イ) 夏秋レタス

作付面積は9,290haで、前年産に比べ100ha(1%)増加した。

10a当たり収量は3,170kgで、前年産に比べ120kg(4%)上回った。

収穫量は29万4,500t、出荷量は27万3,700tで、前年産に比べそれぞれ1万3,900t(5%)、2,900t(1%)増加した。

(ウ) 冬レタス

作付面積は7,990haで、前年産に比べ60ha(1%)減少した。

10a当たり収量は2,070kgで、前年産に比べ270kg(12%)下回った。これは、9月及び10月の台風、長雨等により、生育が抑制されたためである。

収穫量は16万5,500t、出荷量は15万2,800tで、前年産に比べそれぞれ2万3,100t(12%)、2万2,100t(13%)減少した。

図9 レタスの作付面積及び収穫量の推移

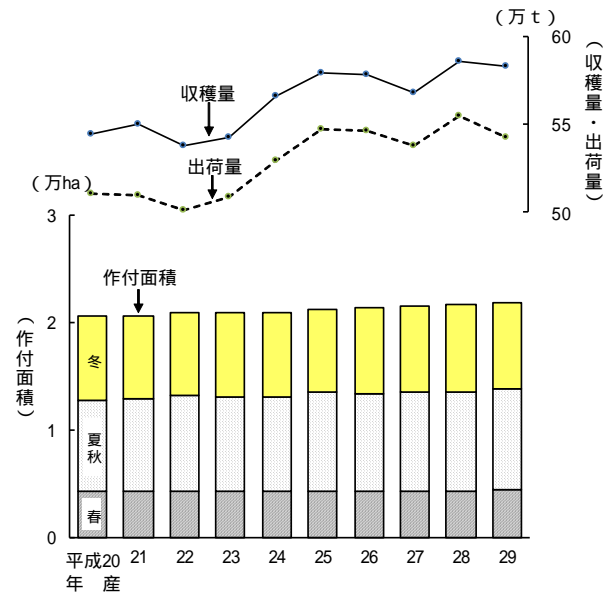


表9 平成29年産レタスの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
レタス	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	4,480	2,750	123,200	115,700	103	103	106	106	104
夏秋	9,290	3,170	294,500	273,700	101	104	105	101	105
冬	7,990	2,070	165,500	152,800	99	88	88	87	90

(9) ね ぎ

ア 作付面積

作付面積は2万2,600haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,030kgで、前年産に比べ30kg(1%)下回った。

ウ 収穫量

収穫量は45万8,800tで、前年産に比べ6,000t(1%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は37万4,400tで、前年産並みとなった。

オ 季節区別の概況

(ア) 春ねぎ

作付面積は3,460haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は2,380kgで、前年産に比べ50kg(2%)下回った。

収穫量は8万2,400t、出荷量は7万2,900tで、前年産に比べそれぞれ1,600t(2%)、900t(1%)減少した。

(イ) 夏ねぎ

作付面積は5,000haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は1,830kgで、前年産に比べ20kg(1%)上回った。

収穫量は9万1,500t、出荷量は8万1,300tで、前年産に比べそれぞれ1,000t(1%)、2,300t(3%)増加した。

(ウ) 秋冬ねぎ

作付面積は1万4,100haで、前年産に比べ100ha(1%)減少した。

10a当たり収量は2,020kgで、前年産に比べ20kg(1%)下回った。

収穫量は28万4,900t、出荷量は22万200tで、前年産に比べそれぞれ5,400t(2%)、2,500t(1%)減少した。

図10 ねぎの作付面積及び収穫量の推移

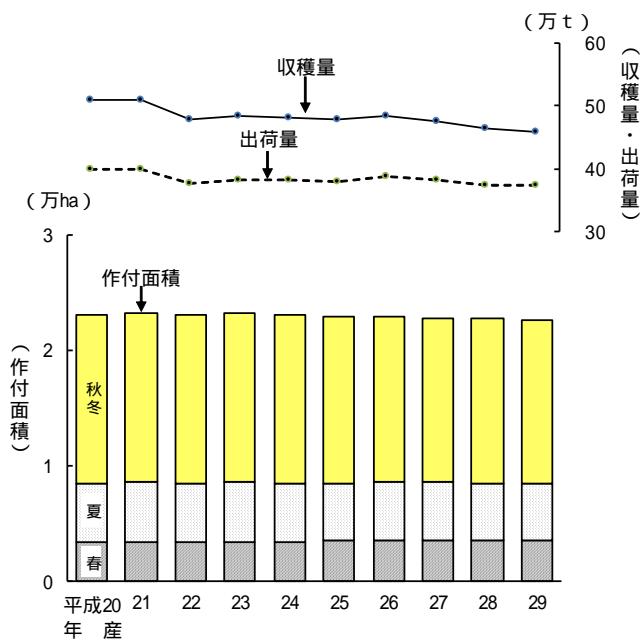


表10 平成29年産ねぎの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ね ぎ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ね ぎ	22,600	2,030	458,800	374,400	100	99	99	100	97
春	3,460	2,380	82,400	72,900	100	98	98	99	97
夏	5,000	1,830	91,500	81,300	100	101	101	103	102
秋 冬	14,100	2,020	284,900	220,200	99	99	98	99	96

(10) たまねぎ

作付面積は2万5,600haで、前年産に比べ200ha(1%)減少した。

10aあたり収量は4,800kgで、前年産並みとなった。

収穫量は122万8,000tで、前年産に比べ1万5,000t(1%)減少した。

出荷量は109万9,000tで、前年産に比べ8,000t(1%)減少した。

図11 たまねぎの作付面積及び収穫量の推移

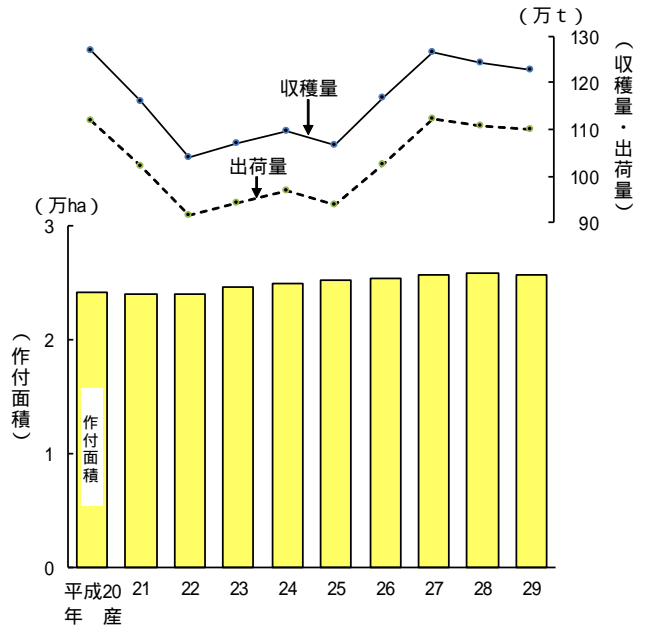


表11 平成29年産たまねぎの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10aあたり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10aあたり収	収穫量	出荷量	
たまねぎ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	25,600	4,800	1,228,000	1,099,000	99	100	99	99	106

(11) きゅうり

ア 作付面積

作付面積は1万800haで、前年産に比べ100ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,180kgで、前年産に比べ130kg(3%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は55万9,500tで、前年産に比べ9,200t(2%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は48万3,200tで、前年産に比べ1万2,600t(3%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春きゅうり

作付面積は2,830haで、前年産に比べ30ha(1%)減少した。

10a当たり収量は1万800kgで、前年産に比べ500kg(5%)上回った。これは、四国地方及び九州地方において十分な日照時間を確保できたため、生育が順調であったことによる。

収穫量は30万4,800t、出荷量は28万6,500tで、前年産に比べそれぞれ1万1,400t(4%)、1万2,500t(5%)増加した。

(イ) 夏秋きゅうり

作付面積は7,940haで、前年産に比べ120ha(1%)減少した。

10a当たり収量は3,210kgで、前年産に比べ20kg(1%)上回った。

収穫量は25万4,800tで前年産に比べ2,100t(1%)減少し、出荷量は19万6,700tで前年産並みとなった。

図12 きゅうりの作付面積及び収穫量の推移

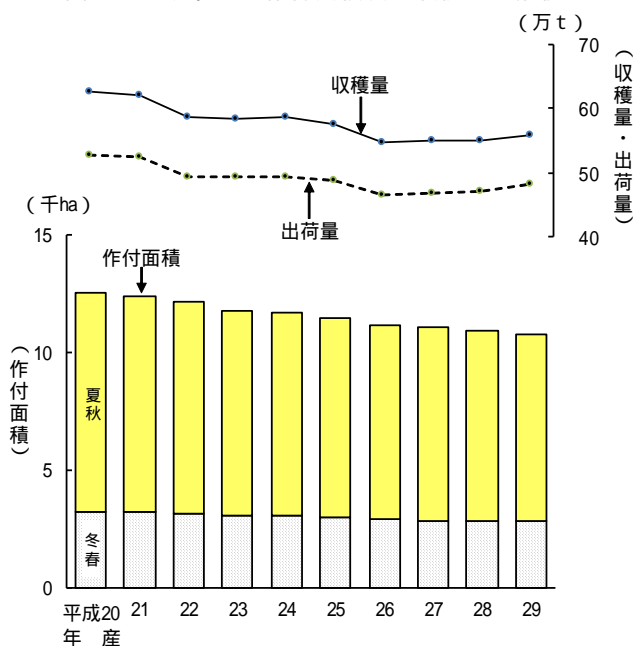


表12 平成29年産きゅうりの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
き ゅ う り	10,800	5,180	559,500	483,200	99	103	102	103	103
冬 春	2,830	10,800	304,800	286,500	99	105	104	105	108
夏 秋	7,940	3,210	254,800	196,700	99	101	99	100	101

(12) なす

ア 作付面積

作付面積は9,160haで、前年産に比べ120ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,360kgで、前年産に比べ60kg(2%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は30万7,800tで、前年産に比べ1,800t(1%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は24万1,400tで、前年産に比べ5,300t(2%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春なす

作付面積は1,080haで、前年産に比べ10ha(1%)減少した。

10a当たり収量は1万1,000kgで、前年産に比べ700kg(7%)上回った。これは、四国地方及び九州地方において十分な日照時間を確保できたため、生育が順調であったことによる。

収穫量は11万9,200t、出荷量は11万2,400tで、前年産に比べそれぞれ6,600t(6%)、6,100t(6%)増加した。

(イ) 夏秋なす

作付面積は8,080haで、前年産に比べ110ha(1%)減少した。

10a当たり収量は2,330kgで、前年産に比べ30kg(1%)下回った。

収穫量は18万8,600t、出荷量は12万9,000tで、前年産に比べそれぞれ4,800t(2%)、700t(1%)減少した。

図13 なすの作付面積及び収穫量の推移

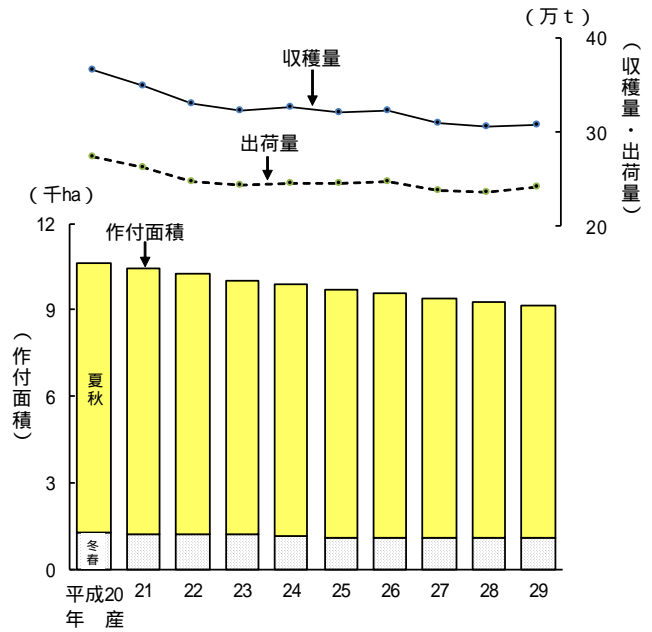


表13 平成29年産なすの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
な す	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	9,160	3,360	307,800	241,400	99	102	101	102	102
夏 秋	1,080	11,000	119,200	112,400	99	107	106	106	108
夏 秋	8,080	2,330	188,600	129,000	99	99	98	99	98

(13) トマト

ア 作付面積

作付面積は1万2,000haで、前年産に比べ100ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は6,140kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は73万7,200tで、前年産に比べ6,000t(1%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は66万7,800tで、前年産並みとなった。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春トマト

作付面積は4,030haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は9,980kgで、前年産並みとなった。

収穫量は40万2,300t、出荷量は38万1,700tで、それぞれ前年産並みとなった。

(イ) 夏秋トマト

作付面積は7,980haで、前年産に比べ120ha(1%)減少した。

10a当たり収量は4,200kgで、前年産に比べ30kg(1%)下回った。

収穫量は33万4,900t、出荷量は28万6,100tで、前年産に比べそれぞれ7,400t(2%)、4,000t(1%)減少した。

図14 トマトの作付面積及び収穫量の推移

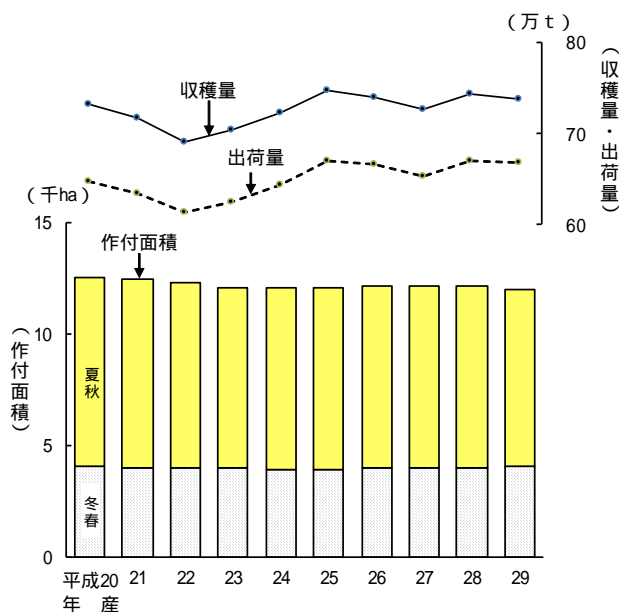


表14 平成29年産トマトの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
ト マ ト	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	12,000	6,140	737,200	667,800	99	100	99	100	102
夏 秋	4,030	9,980	402,300	381,700	100	100	100	100	103
	7,980	4,200	334,900	286,100	99	99	98	99	100

(14) ピーマン

ア 作付面積

作付面積は3,250haで、前年産に比べ20ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,520kgで、前年産に比べ90kg(2%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は14万7,000tで、前年産に比べ2,200t(2%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は12万9,800tで、前年産に比べ2,800t(2%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春ピーマン

作付面積は739haで、前年産に比べ6ha(1%)増加した。

10a当たり収量は1万600kgで、前年産に比べ100kg(1%)上回った。

収穫量は7万8,100t、出荷量は7万3,900tで、前年産に比べそれぞれ1,400t(2%)、1,500t(2%)増加した。

(イ) 夏秋ピーマン

作付面積は2,510haで、前年産に比べ30ha(1%)減少した。

10a当たり収量は2,750kgで、前年産に比べ70kg(3%)上回った。

収穫量は6万8,900t、出荷量は5万5,900tで、前年産に比べそれぞれ800t(1%)、1,300t(2%)増加した。

図15 ピーマンの作付面積及び収穫量の推移

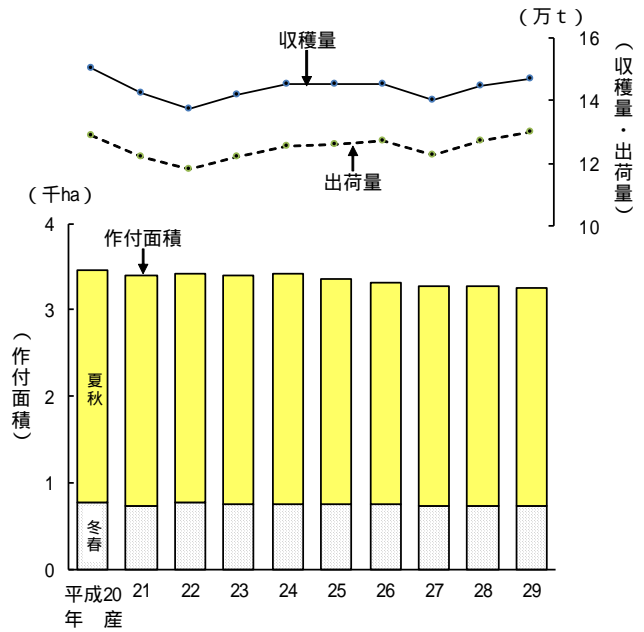


表15 平成29年産ピーマンの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	
ピーマン	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	739	10,600	78,100	73,900	101	101	102	102	105
夏 秋	2,510	2,750	68,900	55,900	99	103	101	102	105



3 指定野菜に準ずる野菜の品目別の概要

(1) 根菜類

ア かぶ

作付面積は4,420haで、前年産に比べ90ha(2%)減少した。

10a当たり収量は2,700kgで、前年産に比べ150kg(5%)下回った。

これは、9月及び10月の台風、長雨等により、生育が抑制されたためである。

収穫量は11万9,300t、出荷量は9万8,800tで、前年産に比べそれぞれ9,400t(7%)、7,500t(7%)減少した。

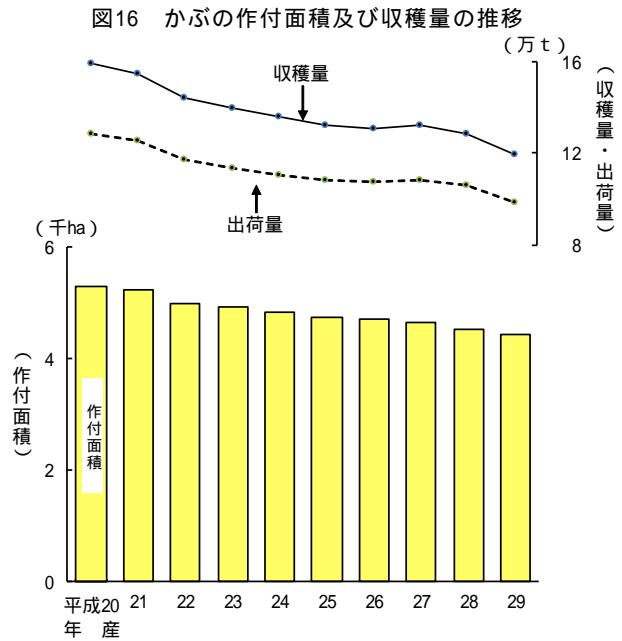


表16 平成29年産かぶの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
かぶ	ha 4,420	kg 2,700	t 119,300	t 98,800	% 98	% 95	% 93	% 93	% 95

イ ごぼう

作付面積は7,950haで、前年産に比べ90ha(1%)減少した。

10a当たり収量は1,790kgで、前年産に比べ80kg(5%)上回った。

これは、北海道において、7月の高温・多照により生育が良好となり、台風等の被害により作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は14万2,100t、出荷量は12万2,800tで、前年産に比べそれぞれ4,500t(3%)、5,000t(4%)増加した。

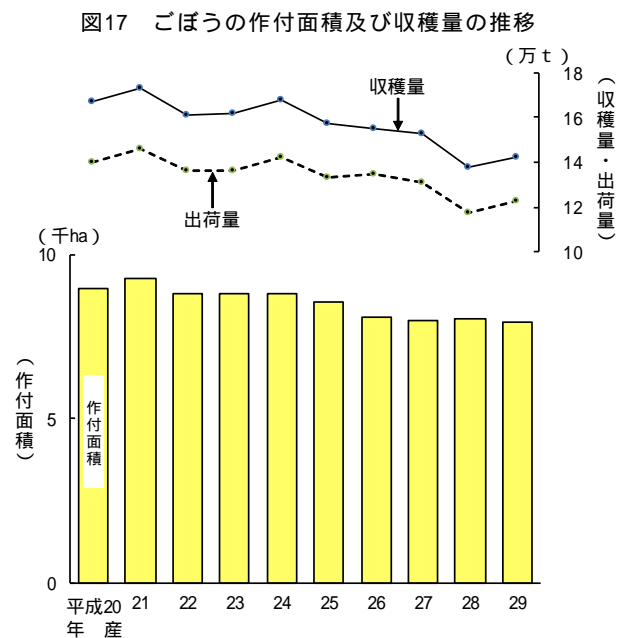


表17 平成29年産ごぼうの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ごぼう	ha 7,950	kg 1,790	t 142,100	t 122,800	% 99	% 105	% 103	% 104	% 96

ウ れんこん

作付面積は3,970haで、前年産に比べ40ha（1%）増加した。

10a当たり収量は1,550kgで、前年産に比べ30kg（2%）上回った。

収穫量は6万1,500t、出荷量は5万1,600tで、前年産に比べそれぞれ1,700t（3%）増加した。

図18 れんこんの作付面積及び収穫量の推移

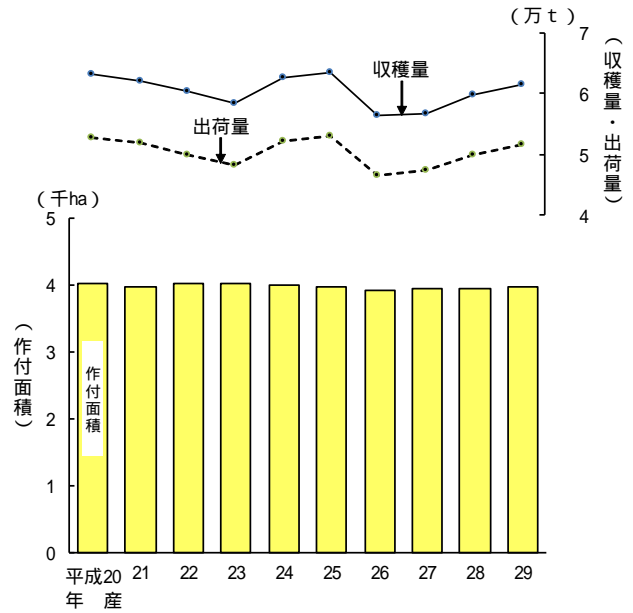


表18 平成29年産れんこんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
れんこん	ha 3,970	kg 1,550	t 61,500	t 51,600	% 101	% 102	% 103	% 103	% 103

エ やまのいも

作付面積は7,150haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は2,230kgで、前年産に比べ180kg（9%）上回った。

これは、北海道において、台風等の被害により作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は15万9,300t、出荷量は13万4,300tで、前年産に比べそれぞれ1万3,600t（9%）、1万3,500t（11%）増加した。

図19 やまのいもの作付面積及び収穫量の推移

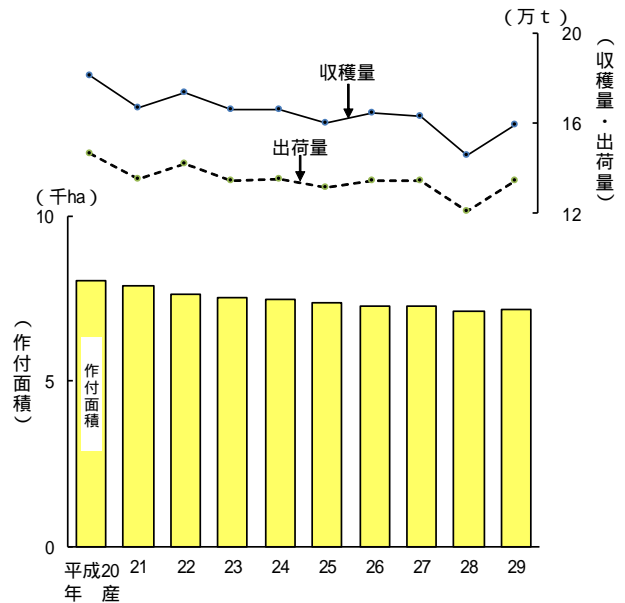


表19 平成29年産やまのいもの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
やまのいも	ha 7,150	kg 2,230	t 159,300	t 134,300	% 100	% 109	% 109	% 111	% 100

(2) 葉茎菜類

ア こまつな

作付面積は7,010haで、前年産に比べ120ha（2%）増加した。

10a当たり収量は1,600kgで、前年産に比べ50kg（3%）下回った。

収穫量は11万2,100tで前年産に比べ1,500t（1%）減少し、出荷量は9万9,200tで前年産並みとなった。

図20 こまつなの作付面積及び収穫量の推移

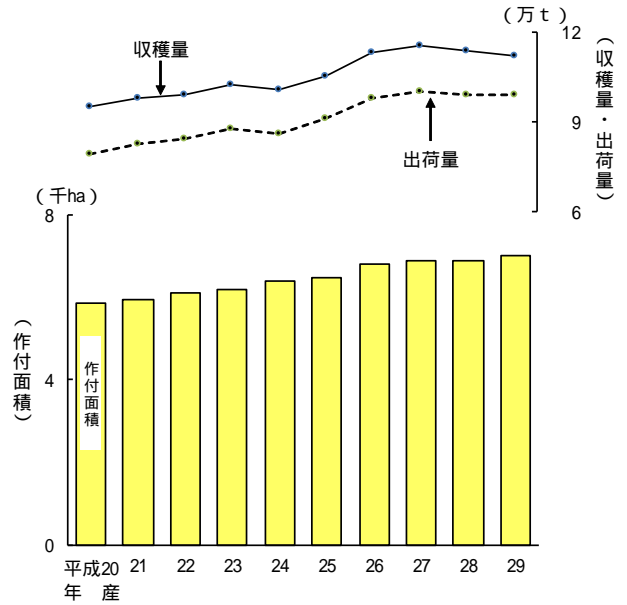


表20 平成29年産こまつなの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
こまつな	ha 7,010	kg 1,600	t 112,100	t 99,200	% 102	% 97	% 99	% 100	% 97

イ ちんげんさい

作付面積は2,200haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

10a当たり収量は1,960kgで、前年産に比べ30kg（2%）下回った。

収穫量は4万3,100t、出荷量は3万8,000tで、前年産に比べそれぞれ1,000t（2%）、700t（2%）減少した。

図21 ちんげんさいの作付面積及び収穫量の推移

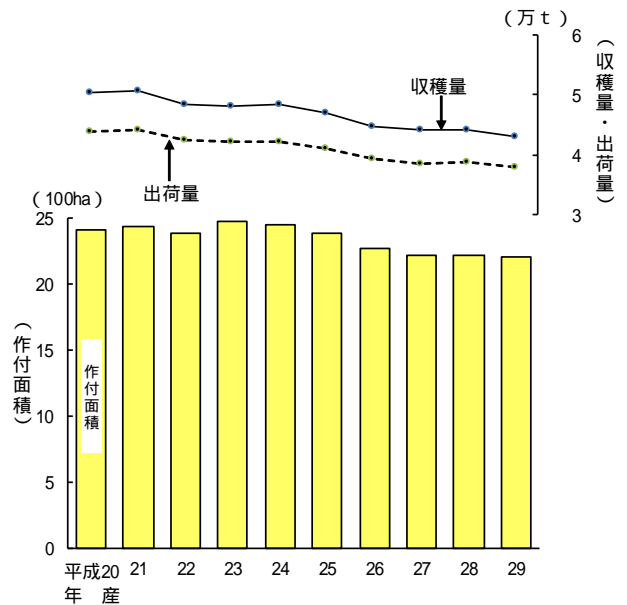


表21 平成29年産ちんげんさいの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ちんげんさい	ha 2,200	kg 1,960	t 43,100	t 38,000	% 99	% 98	% 98	% 98	% 99

ウ ふき

作付面積は557haで、前年産に比べ14ha（2%）減少した。

10a当たり収量は1,920kgで、前年産に比べ40kg（2%）下回った。

収穫量は1万700t、出荷量は9,130tで、前年産に比べそれぞれ500t（4%）、250t（3%）減少した。

図22 ふきの作付面積及び収穫量の推移

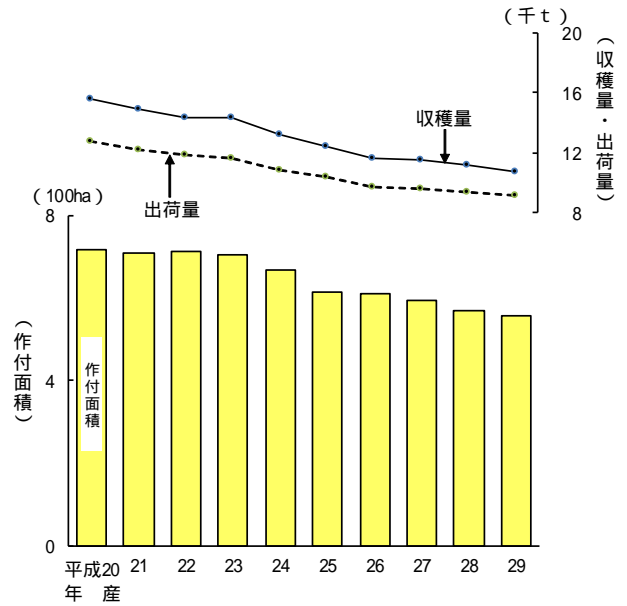


表22 平成29年産ふきの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ふき	ha 557	kg 1,920	t 10,700	t 9,130	% 98	% 98	% 96	% 97	% 97

エ みつば

作付面積は957haで、前年産に比べ22ha（2%）減少した。

10a当たり収量は1,610kgで、前年産に比べ50kg（3%）上回った。

収穫量は1万5,400t、出荷量は1万4,400tで、前年産に比べそれぞれ100t（1%）増加した。

図23 みつばの作付面積及び収穫量の推移

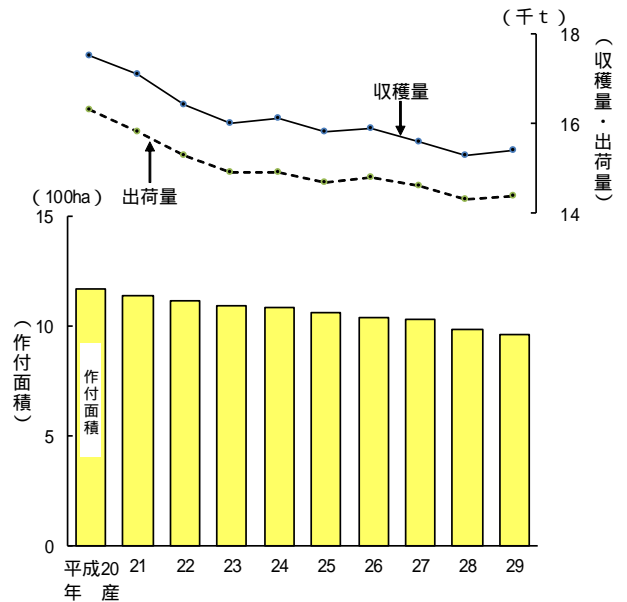


表23 平成29年産みつばの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
みつば	ha 957	kg 1,610	t 15,400	t 14,400	% 98	% 103	% 101	% 101	% 107

オ しゅんぎく

作付面積は1,930haで、前年産に比べ30ha（2%）減少となった。

10a当たり収量は1,500kgで、前年産に比べ30kg（2%）下回った。

収穫量は2万9,000t、出荷量は2万3,500tで、前年産に比べそれぞれ1,000t（3%）、700t（3%）減少した。

図24 しゅんぎくの作付面積及び収穫量の推移

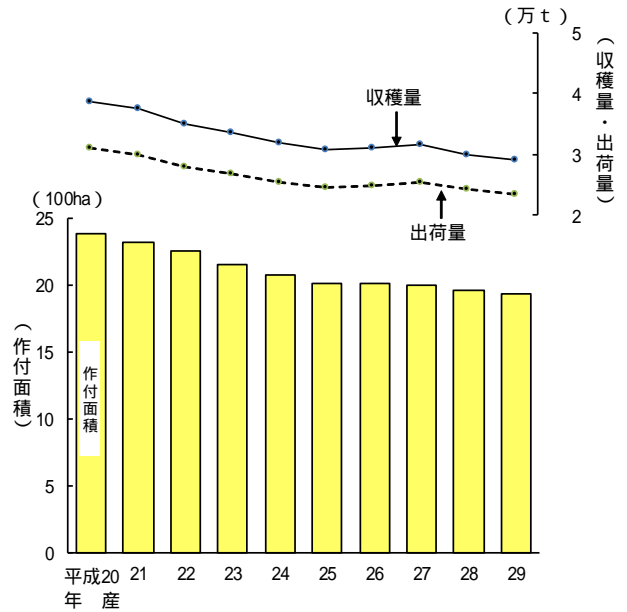


表24 平成29年産しゅんぎくの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
しゅんぎく	ha 1,930	kg 1,500	t 29,000	t 23,500	% 98	% 98	% 97	% 97	% 97

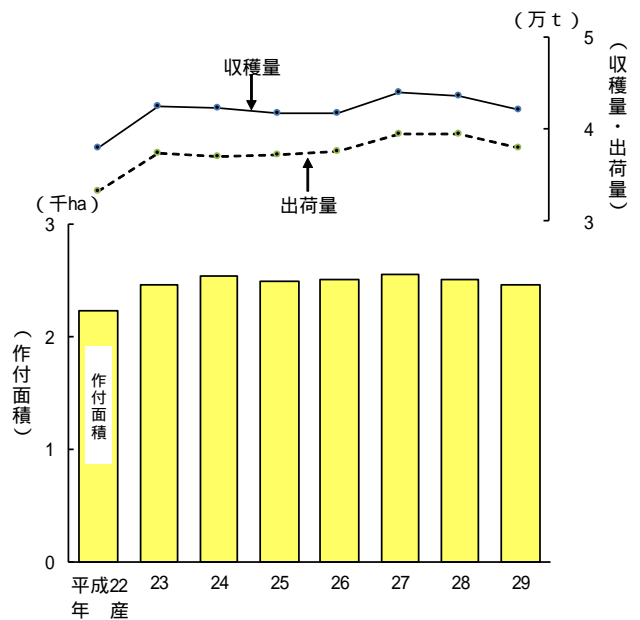
カ みずな

作付面積は2,460haで、前年産に比べ50ha（2%）減少した。

10a当たり収量は1,710kgで、前年産に比べ30kg（2%）下回った。

収穫量は4万2,100t、出荷量は3万8,000tで、前年産に比べそれぞれ1,500t（3%）、1,400t（4%）減少した。

図25 みずなの作付面積及び収穫量の推移



注：平成22年産からみずなを調査品目に追加した。

表25 平成29年産みずなの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
みずな	ha 2,460	kg 1,710	t 42,100	t 38,000	% 98	% 98	% 97	% 96	% 101

キ セルリー

作付面積は580haで、前年産に比べ5 ha (1%) 減少した。

10 a 当たり収量は5,550kgで、前年産に比べ180kg (3%) 下回った。

収穫量は3万2,200 t、出荷量は3万600 tで、前年産に比べそれぞれ1,300 t (4%)、1,000 t (3%) 減少した。

図26 セルリーの作付面積及び収穫量の推移

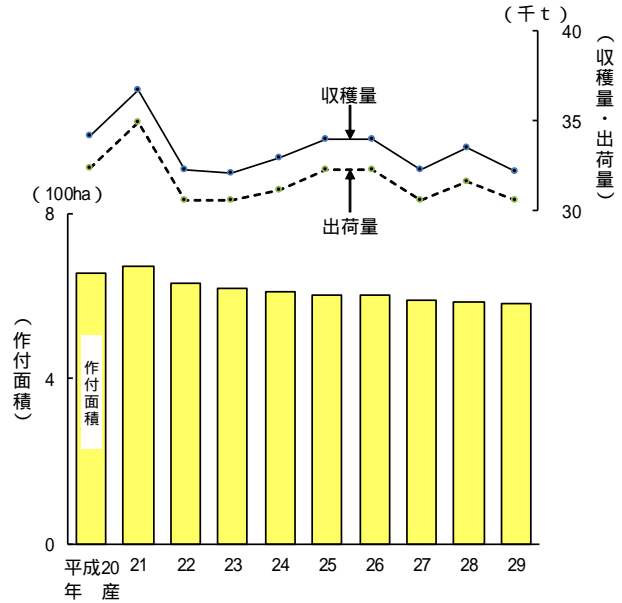


表26 平成29年産セルリーの作付面積、収穫量及び出荷量 (全国)

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
セルリー	ha 580	kg 5,550	t 32,200	t 30,600	% 99	% 97	% 96	% 97	% 101

ク アスパラガス

作付面積は5,330haで、前年産に比べ90 ha (2%) 減少した。

10 a 当たり収量は492kgで、前年産に比べ69kg (12%) 下回った。

これは、前年の天候不順により株の養成が不十分であったこと、6月の低温により茎の肥大が不足したこと等のためである。

収穫量は2万6,200 t、出荷量は2万3,000 tで、前年産に比べそれぞれ4,200 t (14%)、3,800 (14%) 減少した。

図27 アスパラガスの作付面積及び収穫量の推移

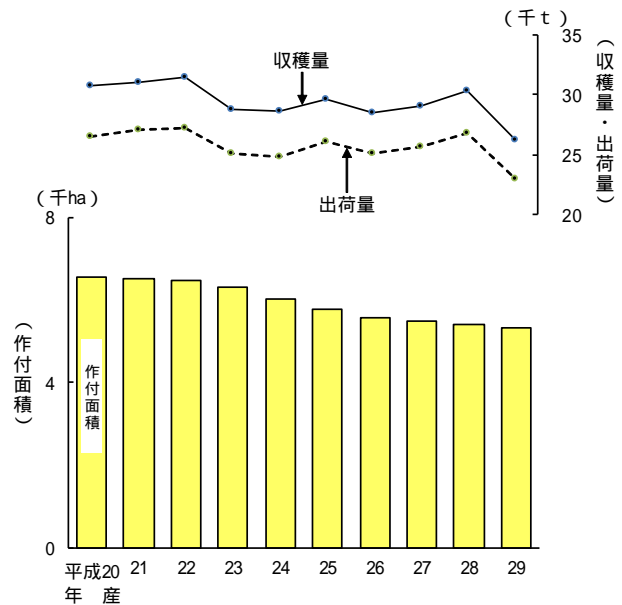


表27 平成29年産アスパラガスの作付面積、収穫量及び出荷量 (全国)

品 目	作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
アスパラガス	ha 5,330	kg 492	t 26,200	t 23,000	% 98	% 88	% 86	% 86	% 98

ケ カリフラワー

作付面積は1,230haで、前年産に比べ10ha(1%)増加した。

10a当たり収量は1,630kgで、前年産に比べ40kg(2%)下回った。

収穫量は2万100t、出荷量は1万7,000tで、前年産に比べそれぞれ300t(1%)、200t(1%)減少した。

図28 カリフラワーの作付面積及び収穫量の推移

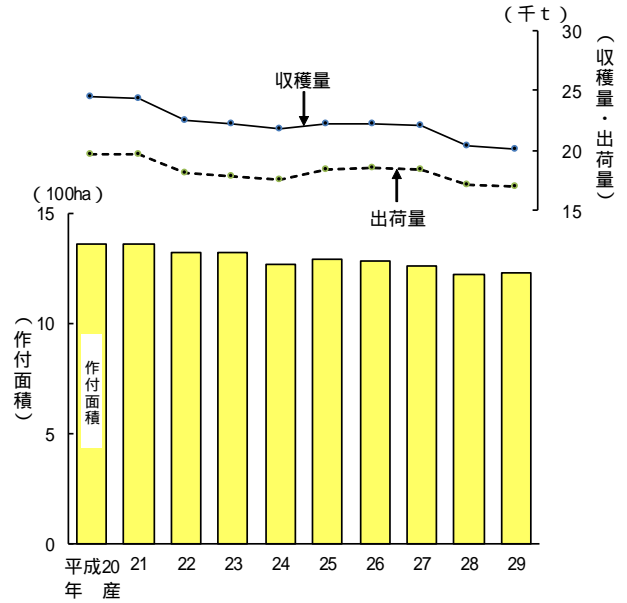


表28 平成29年産カリフラワーの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
カリフラワー	ha 1,230	kg 1,630	t 20,100	t 17,000	% 101	% 98	% 99	% 99	% 95

コ ブロッコリー

作付面積は1万4,900haで、前年産に比べ300ha(2%)増加した。

10a当たり収量は970kgで、前年産に比べ5kg(1%)下回った。

収穫量は14万4,600t、出荷量は13万200tで、前年産に比べそれぞれ2,300t(2%)増加した。

図29 ブロッコリーの作付面積及び収穫量の推移

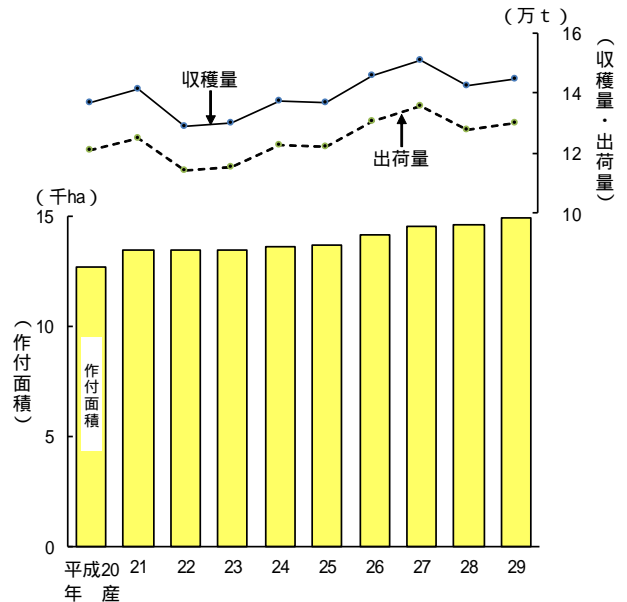


表29 平成29年産ブロッコリーの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
ブロッコリー	ha 14,900	kg 970	t 144,600	t 130,200	% 102	% 99	% 102	% 102	% 97

サ にら

作付面積は2,060haで、前年産に比べ60ha（3%）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付中止や規模縮小があったためである。

10a当たり収量は2,890kgで、前年産に比べ40kg（1%）下回った。

収穫量は5万9,600t、出荷量は5万3,900tで、前年産に比べそれぞれ2,500t（4%）、2,300t（4%）減少した。

図30 にらの作付面積及び収穫量の推移

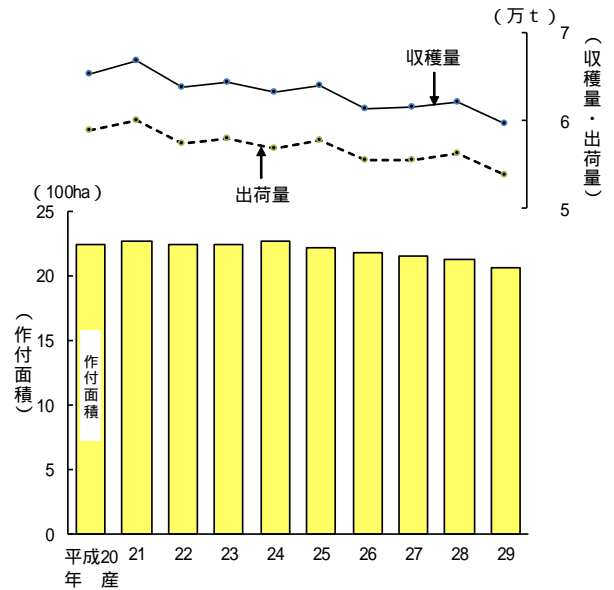


表30 平成29年産にらの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
にら	ha 2,060	kg 2,890	t 59,600	t 53,900	% 97	% 99	% 96	% 96	% 101

シ にんにく

作付面積は2,430haで、前年産に比べ20ha（1%）増加した。

10a当たり収量は852kgで、前年産に比べ24kg（3%）下回った。

収穫量は2万700t、出荷量は1万4,500tで、前年産に比べそれぞれ400t（2%）、200t（1%）減少した。

図31 にんにくの作付面積及び収穫量の推移

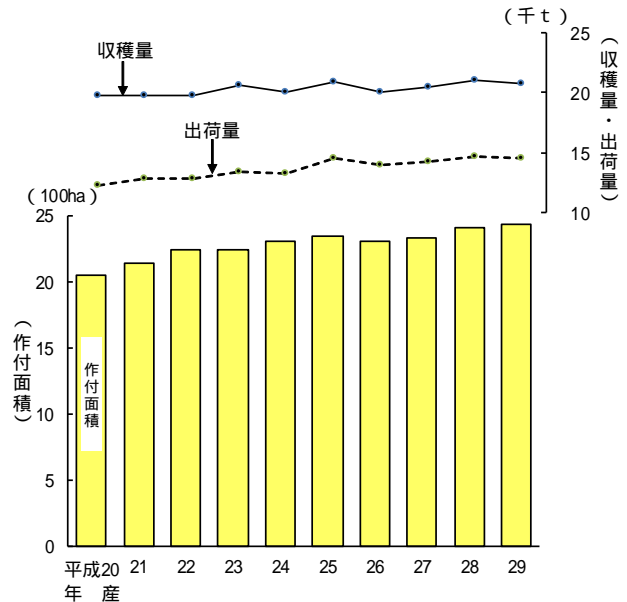


表31 平成29年産にんにくの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
にんにく	ha 2,430	kg 852	t 20,700	t 14,500	% 101	% 97	% 98	% 99	% 97



(3) 果菜類

ア かぼちゃ

作付面積は1万5,800haで、前年産に比べ200ha(1%)減少した。

10a当たり収量は1,270kgで、前年産に比べ110kg(9%)上回った。

これは、北海道において、7月の高温・多照により生育が良好となり、台風等により作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は20万1,300t、出荷量は16万1,000tで、前年産に比べそれぞれ1万6,000t(9%)、1万5,400t(11%)増加した。

図32 かぼちゃの作付面積及び収穫量の推移

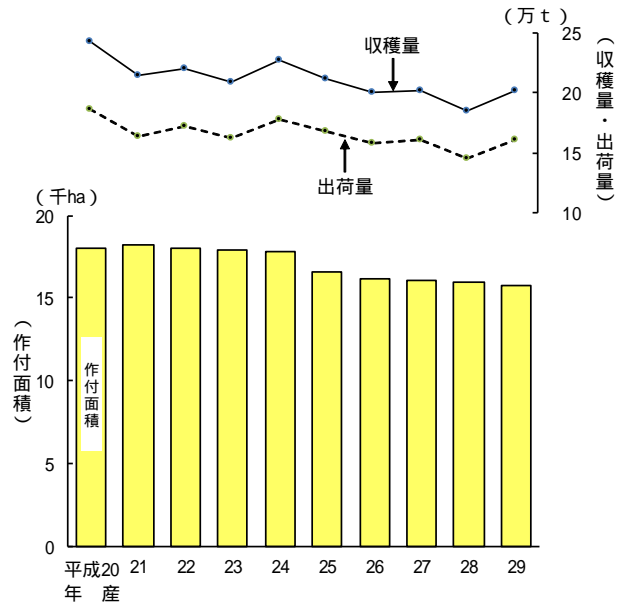


表32 平成29年産かぼちゃの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
かぼちゃ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	15,800	1,270	201,300	161,000	99	109	109	111	103

イ スイートコーン

作付面積は2万2,700haで、前年産に比べ1,300ha(5%)減少した。

これは、北海道において、前年の台風被害により加工場が被災したことから、製品生産縮減のため契約栽培が減少したことによる。

10a当たり収量は1,020kgで、前年産に比べ202kg(25%)上回った。

これは、北海道において、台風等の被害により作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は23万1,700t、出荷量は18万6,300tで、前年産に比べそれぞれ3万5,500t(18%)、3万5,600t(24%)増加した。

図33 スイートコーンの作付面積及び収穫量の推移

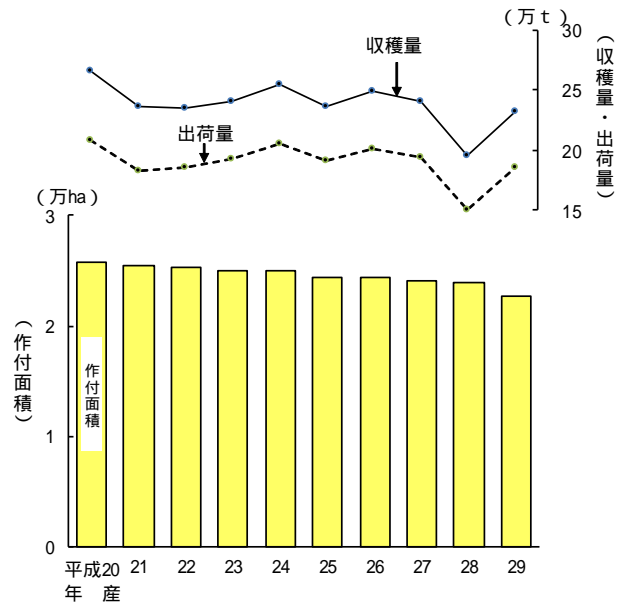


表33 平成29年産スイートコーンの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
スイートコーン	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	22,700	1,020	231,700	186,300	95	125	118	124	105

ウ さやいんげん

作付面積は5,590haで、前年産に比べ60ha（1%）減少した。

10a当たり収量は712kgで、前年産に比べ13kg（2%）上回った。

収穫量は3万9,800t、出荷量は2万6,400tで、前年産に比べそれぞれ300t（1%）、700t（3%）増加した。

図34 さやいんげんの作付面積及び収穫量の推移

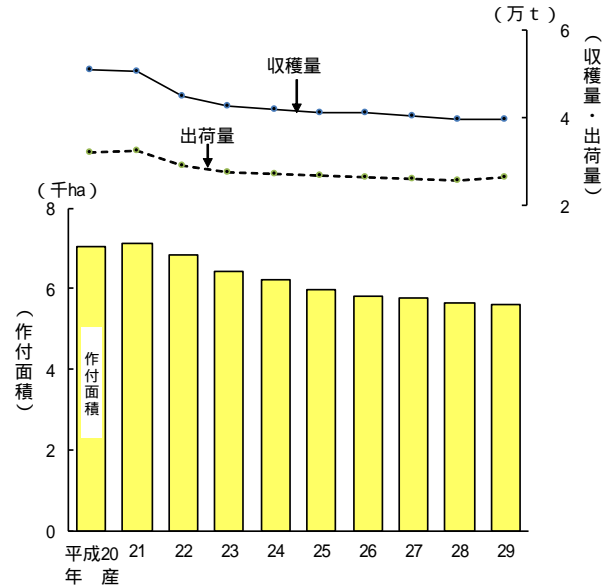


表34 平成29年産さやいんげんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
さやいんげん	ha 5,590	kg 712	t 39,800	t 26,400	% 99	% 102	% 101	% 103	% 104

エ さやえんどう

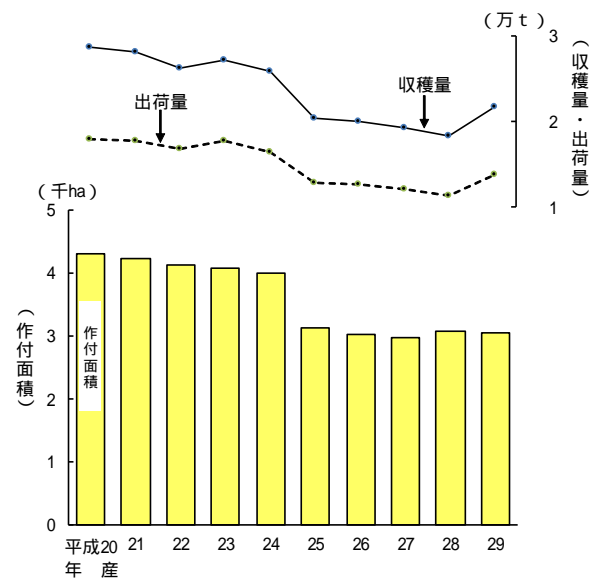
作付面積は3,050haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

10a当たり収量は711kgで、前年産に比べ112kg（19%）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好となり、寒波により作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は2万1,700t、出荷量は1万3,800tで、前年産に比べそれぞれ3,300t（18%）、2,500t（22%）増加した。

図35 さやえんどうの作付面積及び収穫量の推移



注：平成24年産までさやえんどうに含めていたグリーンピースを平成25年産からさやえんどうと区分した。

表35 平成29年産さやえんどうの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
さやえんどう	ha 3,050	kg 711	t 21,700	t 13,800	% 99	% 119	% 118	% 122	% 111

オ グリーンピース

作付面積は772haで、前年産に比べ33ha（4%）減少した。

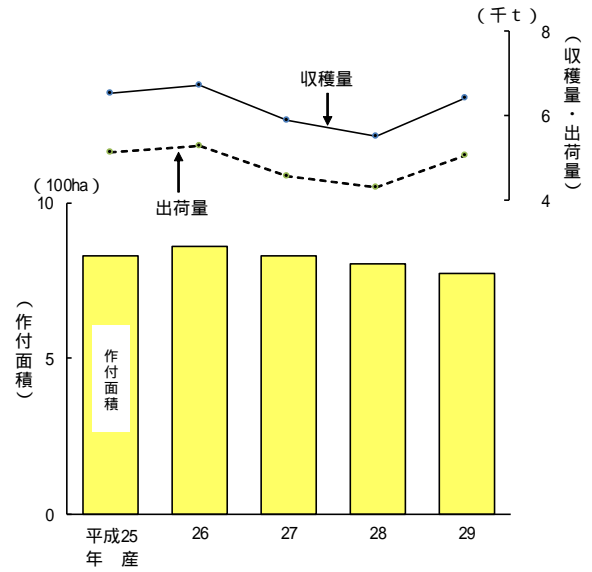
これは、他の野菜への転換等により減少したためである。

10a当たり収量は830kgで、前年産に比べ144kg（21%）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好となり、寒波により作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は6,410t、出荷量は5,060tで、前年産に比べそれぞれ890t（16%）、760t（18%）増加した。

図36 グリーンピースの作付面積及び収穫量の推移



注：平成24年産までさやえんどうに含めていたグリーンピースを平成25年産からさやえんどうと区分した。

表36 平成29年産グリーンピースの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
グリーンピース	ha 772	kg 830	t 6,410	t 5,060	% 96	% 121	% 116	% 118	% 112

カ そらまめ

作付面積は1,900haで、前年産に比べ80ha（4%）減少した。

これは、他の野菜への転換等により減少したためである。

10a当たり収量は816kgで、前年産に比べ74kg（10%）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好となり、寒波により作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

収穫量は1万5,500t、出荷量は1万700tで、前年産に比べそれぞれ800t（5%）、710t（7%）増加した。

図37 そらまめの作付面積及び収穫量の推移

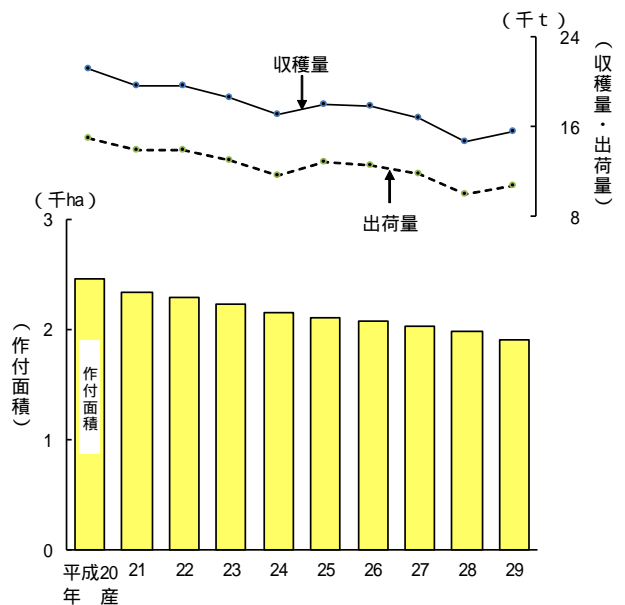


表37 平成29年産そらまめの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
そらまめ	ha 1,900	kg 816	t 15,500	t 10,700	% 96	% 110	% 105	% 107	% 98

キ えだまめ

作付面積は1万2,900haで、前年産に比べ100ha(1%)増加した。

10a当たり収量は525kgで、前年産に比べ9kg(2%)上回った。

収穫量は6万7,700t、出荷量は5万1,800tで、前年産に比べそれぞれ1,700t(3%)、2,100t(4%)増加した。

図38 えだまめの作付面積及び収穫量の推移

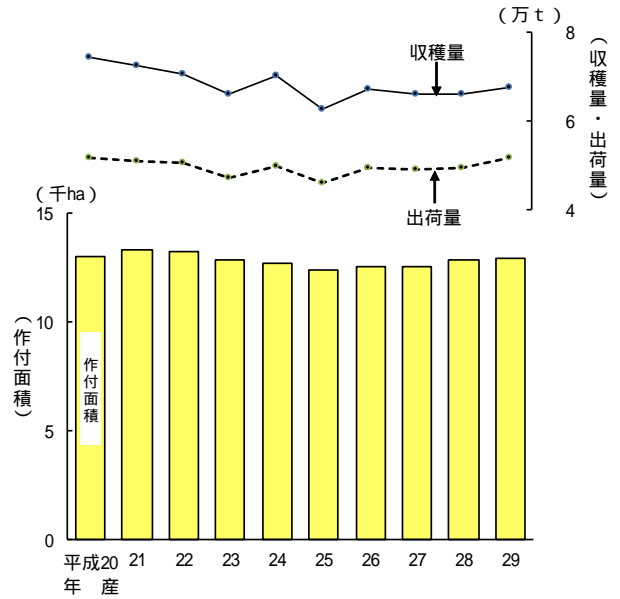


表38 平成29年産えだまめの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
えだまめ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	12,900	525	67,700	51,800	101	102	103	104	100

(4) 香辛野菜

しょうが

作付面積は1,780haで、前年産に比べ30ha(2%)減少した。

10a当たり収量は2,710kgで、前年産に比べ100kg(4%)下回った。

収穫量は4万8,300t、出荷量は3万8,100tで、前年産に比べそれぞれ2,500t(5%)、2,000t(5%)減少した。

図39 しょうがの作付面積及び収穫量の推移

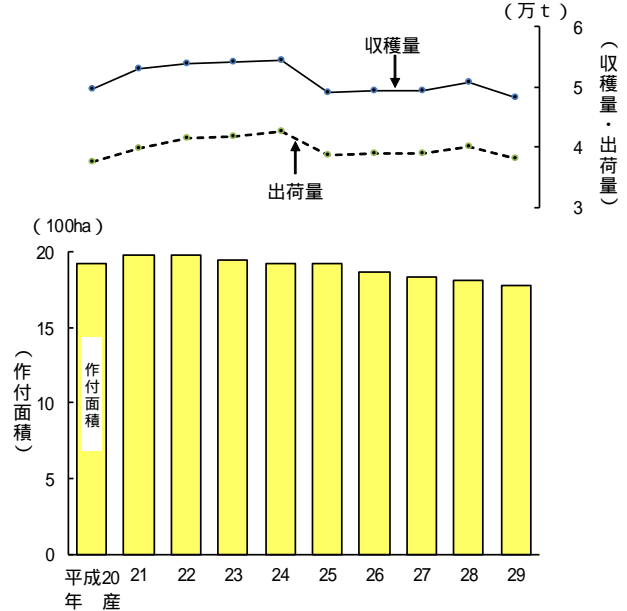


表39 平成29年産しょうがの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
しょうが	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	1,780	2,710	48,300	38,100	98	96	95	95	99

(5) 果実的野菜

ア いちご

作付面積は5,280haで、前年産に比べ90ha(2%)減少した。

10a当たり収量は3,100kgで、前年産に比べ140kg(5%)上回った。

これは、日照時間が多く生育が良好となり、病害虫の被害が少なかったためである。

収穫量は16万3,700t、出荷量は15万200tで、前年産に比べそれぞれ4,700t(3%)、5,200t(4%)増加した。

図40 いちごの作付面積及び収穫量の推移

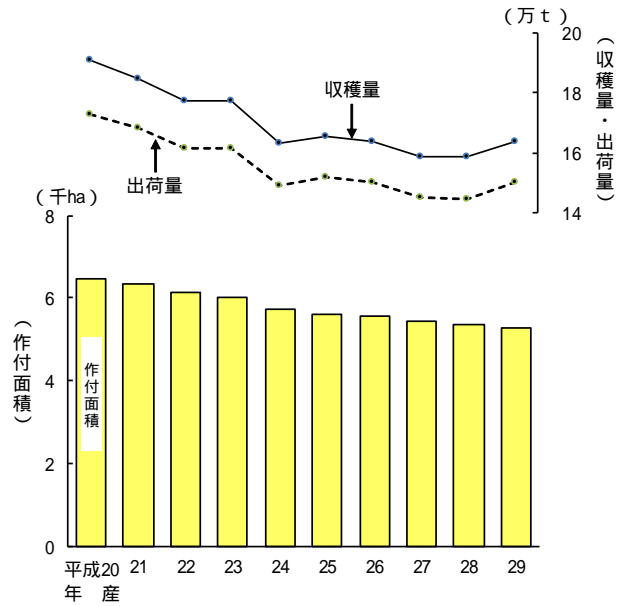


表40 平成29年産いちごの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
いちご	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	5,280	3,100	163,700	150,200	98	105	103	104	106

イ メロン

作付面積は6,770haで、前年産に比べ180ha(3%)減少した。

これは、他の野菜への転換や規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は2,290kgで、前年産並みとなった。

収穫量は15万5,000t、出荷量は14万700tで、前年産に比べそれぞれ3,200t(2%)、2,900t(2%)減少した。

図41 メロンの作付面積及び収穫量の推移

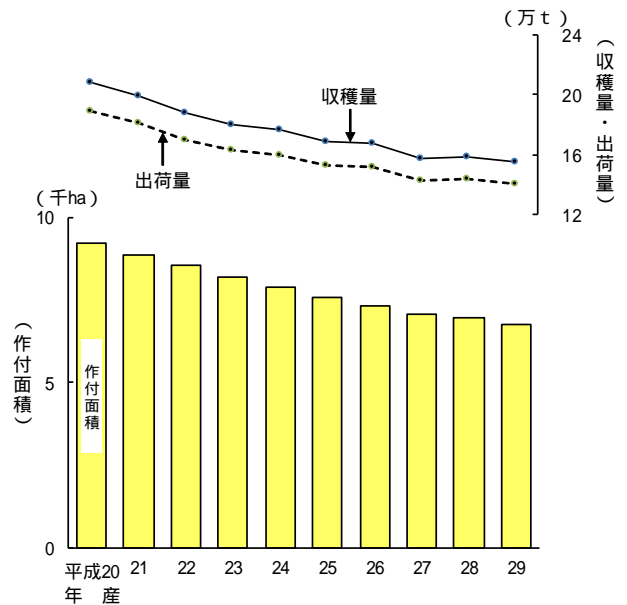


表41 平成29年産メロンの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
メロン	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	6,770	2,290	155,000	140,700	97	100	98	98	102

ウ すいか

作付面積は1万200haで、前年産に比べ200ha(2%)減少した。

10a当たり収量は3,250kgで、前年産に比べ70kg(2%)下回った。

収穫量は33万1,100t、出荷量は28万4,400tで、前年産に比べそれぞれ1万3,700t(4%)、1万2,000t(4%)減少した。

図42 すいかの作付面積及び収穫量の推移

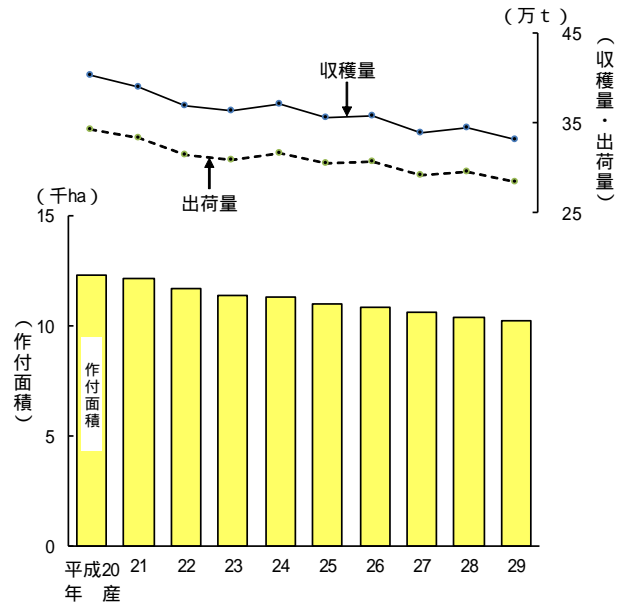


表42 平成29年産すいかの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
すいか	ha 10,200	kg 3,250	t 331,100	t 284,400	% 98	% 98	% 96	% 96	% 100

